

1 単元名 運動やスポーツの多様性（体育理論）

2 目 標

- ・運動やスポーツが多様であることについて理解できる。 [知識及び技能]
- ・運動やスポーツが多様であることについて自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝えることができる。 [思考力、判断力、表現力等]
- ・運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができる。 [学びに向かう力、人間性等]

3 単元計画

第一次 運動やスポーツの必要性和楽しさ …… 1時間

第二次 運動やスポーツへの多様な関わり方…… 1時間（本時1／1）

第三次 運動やスポーツの多様な楽しみ方 …… 1時間

4 本時の学習

(1) 題 目 運動やスポーツへの多様な関わり方 [第二次中1時]

(2) ねらい

- ・運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることおよび知ることなどの多様な関わり方があることを理解できる。 [知識及び技能]

(3) 学習過程

学習活動と児童生徒の主な意識の流れ	時	評価 (◎) と支援 (・)
<p>1 学習のめあてをつかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京マラソンの写真を見て、この大会にどのような人が関わっているか話し合う。 <p><運動やスポーツには、どのような関わり方があるのでしょうか。></p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・写真に写っていない例を挙げてもよい。
<p>2 自分で考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料などを基に、運動やスポーツには「する、見る、支える、知る」などの多様な関わり方があることを整理する。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・「する」スポーツばかりに意識がいく場合は、それ以外の関わり方、楽しみ方があることに気づかせる。
<p>3 自分の考えを伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の生活の振り返りや資料を基に、運動やスポーツを「見ること」「支えること」「知ること」の具体例について調べ、発表する。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・「すること」「見ること」「支えること」「知ること」は、どれか一つを行うよりも関連させて行ったほうが、それぞれの楽しみが深まることを確認する。
<p>4 みんなで考えを深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域で行われるスポーツイベントにどのように関わることができるかを考える。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントが思い浮かばない生徒には、インターネットを活用し、調べさせる。 【ICT】
<p>5 「わかった」「できた」をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを整理し、ノートにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・プロの試合を観戦して楽しむなどの関わりがある。 ・体育でも、他チームの試合の運営を行いたい。運営を行うことで、支える関わり方を行いたい。 </div>	15	<ul style="list-style-type: none"> ◎多様な形で運動やスポーツに関わり楽しむ方法を考え、ノートに記述している。 (ノート) [知識・技能]

(4) 参観の視点に関する工夫点

- ③生徒の自己肯定感を高めるために、生徒に意見や活動に対し、認め励ます言葉かけを行う。